

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
三輪・内谷地区

平成26年3月

静岡県藤枝市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	生活環境満足度	%	16	32	32	確定	○	あり	33	H25年9月	○	<ul style="list-style-type: none"> ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる 	地区内と地区外を結ぶ道路の新設や避難地としての役割をもつ都市公園の新設、浸水被害防止に寄与する排水路の新設が行われ、地域住民の生活環境向上が図られた。
指標2	緊急車両の到達時間	分	6	3	3	確定	○	あり	3	H25年9月	○	<ul style="list-style-type: none"> ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる 	地区外と地区を結ぶ、三輪本線の開通により、緊急車両の既存走行ルートから大幅に短縮された走行ルートの確保が行われた。 また、その他道路事業により消防活動困難区域の解消および公園整備により地区内のランドマークが整備され、現在地までの説明時間短縮が行われた。
指標3	一人あたりの公園面積	m ²	0.9	6.4	6.5	確定	○	あり	6.6	H25年9月	○	<ul style="list-style-type: none"> ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる 	三輪公園の整備により、地区内の都市公園としての機能拡充が図られた。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み				H 年 月			<ul style="list-style-type: none"> □ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる 	
その他の数値指標2					確定 見込み				H 年 月			<ul style="list-style-type: none"> □ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる 	
その他の数値指標3					確定 見込み				H 年 月			<ul style="list-style-type: none"> □ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる 	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	防災機能の維持、防災意識向上の啓発	・防災活動の継続的な支援に努めた。 ・防災関連施設の機能を維持するため、定期的な点検に努めた。	・市民の防災に対する意識向上を促すことができた。 ・定期的な点検により適切な維持管理を行い、防災関連施設の機能を十分に発揮できる状態にある。	・今後も継続的に防災意識向上や施設の定期的な点検に努め、地域住民の安心を確保する。
	アクセス道路の継続的機能維持	・アクセス道路の機能維持の為、定期的な点検に努めた。	・定期的な点検により、アクセス道路の機能を高い水準で維持できている。	・今後も適切な維持管理を継続して実施していく。
	地区内交流の促進	・公園の利用促進(地区内交流の促進)のため、イベントを実施した。	・地区内交流の促進に寄与した。	・今後も様々なイベント開催の定例化等により、地区内交流の促進に努める。
	公共施設維持管理の効率化	・まち美化里親制度の周知や活動推進に努めた。	・まち美化里親制度の参加者増加等に繋がった。	・今後も維持管理の効率化に寄与する取組みを継続して実施していく。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	生活道路の整備推進	・公園周辺道路にグリーンベルトと隣接する見通しが悪い交差点にはカラー舗装を設置し、利用者の安全に努めた。	・地域住民の交通安全対策に対する意識向上が図られた。	・生活道路の整備による、安全性の向上に努めていく。
	地域コミュニティ活動の促進	・市民団体に対してコミュニティ活動の場の提供等の支援を行った。	・地域コミュニティの活動の場が提供でき、地域住民のコミュニティ強化に寄与した。	・今後もコミュニティ活動の促進に繋がる、場の提供や情報発信に努める。
	交通安全対策の向上	・ゾーン30のPR活動の推進に努めた。	・ゾーン30のPR活動を推進することができ、交通安全対策に対する意識向上が図られた。	・今後も継続してPR活動を実施していく。
	地域防犯活動の促進	・広報等により、防犯に対する意識向上に努めた。	・防犯に対する意識向上がみられ、身近な犯罪の防止及び不安の解消が図られた。	・今後も継続した防犯活動に努める。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項